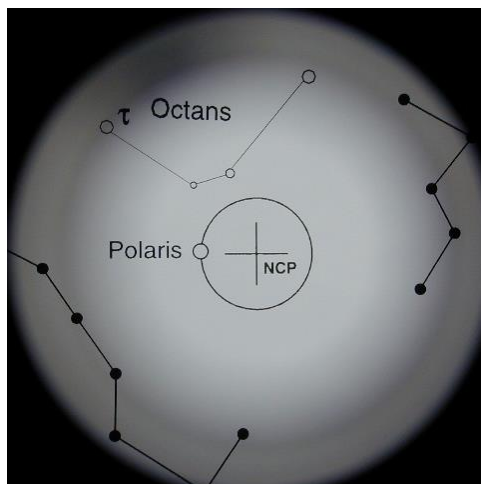


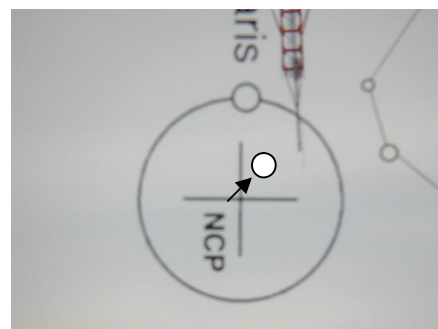
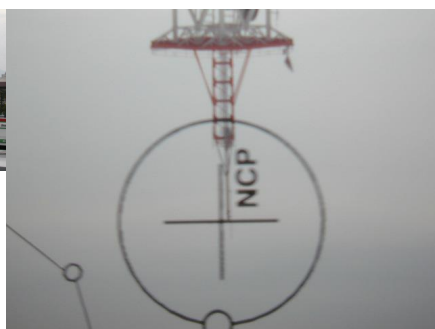
## 極軸の合わせ方

極軸のセットは北半球では極軸望遠鏡のチャートを回転させてカシオペア座と北斗七星の方向を合わせてPolarisの円の中に北極星がくるようにします。チャートの回転はAのネジを緩めて行ないます。位置が合ったらAのネジを止めて下さい。(カシオペア座と北斗七星は方向の目安です。極軸望遠鏡の視野の中に入る訳ではありません。)  
南半球では同様にチャートを回転させ、八分儀座の $\tau$ 星の近くの4つの星をチャートに合わせます。



この極軸望遠鏡は出荷時におおよその光軸は調整してございますので、このままご使用頂けますが、ご使用中に光軸がずれた場合や、より追い込まれる場合は下記の要領にしたがって光軸合わせを行なってください。

- 1、最初に極軸筒(極軸望遠鏡ではありません)を覗き、500m以上先の鉄塔などの目標を視野の中心に導入します。
- 2、極軸望遠鏡をCD-1へ取り付け、ネジを回転できる程度の適当な固さに締めます。まず左の写真のように左の位置にセットします。続いて1で導入した目標が十字線の中心にくるよう極軸望遠鏡の外筒の3本の調整ネジ(上の写真のBの部分の3本のネジ)で調整します
- 3、つぎに右の写真のように180度回転させます。すると最初はかなりずれていますので、3本の調整ネジで調整しながら追い込んでいきます。調整は最初の位置とずれた位置の間あたりへ目標物がくるようにします。



最初の姿勢と目標物の調整

180度回した姿勢と目標のズレ及び調整位置

十字線が最初の位置とズレた位置の間あたりにくるように調整します。

- 4、再び最初の姿勢に戻し、目標物が十字線の中心にくるよう調整したのち180度回転させます。前回よりズレは小さくなっていますが、上記写真の要領で2、3を繰り返し、左右の位置でのズレがほとんどなくなるようにします。
- 5、上記の調整後は極軸望遠鏡をCD-1から取り外して再度取り付けた場合もある程度の再現性は保たれますが、実際の撮影時は星などで微調整を行なって下さい。なおペンライト等で明視野照明を工夫なさって下さい。

※なおこの極軸望遠鏡は簡易型となりますので据付精度は最高でも10~20' となります。

※外観や極望鏡筒内に若干の傷等がございますが、性能に影響はございませんので悪しからずご了承下さいませ。